

対ウガンダ共和国 国別開発協力方針

平成 29 年 7 月

1. 当該国への開発協力のねらい

ウガンダは 4 千万人に迫る人口を擁し、年 4~5%の安定した経済成長を記録している。さらにルワンダ、ブルンジ、コンゴ民主共和国東部、南スーダン及びタンザニア北部とケニアの外港モンバサを結ぶ北部回廊の要に位置し、加えて、近年石油開発も進められていることから、同国に対する我が国経済界の関心も高まってきている。また、ウガンダはその地理的優位を活かすべく、東アフリカ共同体（EAC）¹及び東南部アフリカ共同市場（COMESA）²に参加し、地域統合に積極的なことから、我が国がウガンダを支援することは、広域開発を促す観点からも重要である。

さらに、ウガンダは紛争等で隣国から逃れてきた 50 万人以上の難民を受け入れており、周辺地域の安定にも重要な役割を果たしている。

他方、ビジョン 2040³で掲げられる小作農の国から近代的に繁栄した国を実現するには、全国規模での経済成長を通じた貧困削減が必要となっており、都市部と農村部の格差及び北部と他地域の格差への対応が課題となっている。特に 2006 年まで続いた紛争により、北部地域は基礎インフラ、社会サービスの提供及び人的資源開発が立ち後れている。

このため、TICADVIにおける我が国取組に沿って「質の高いインフラ整備」及び「平和と安定の基盤作り」の実現を促していくことは、ウガンダの国家開発計画の実現を支援することに繋がっていく。

2. 我が国の ODA の基本方針（大目標）：経済成長を通じた貧困削減と地域格差是正の支援

インフラ整備及び人的資源開発に係る支援を実施し、ウガンダ及び近隣諸国の経済成長に貢献する。また地域格差の是正に配慮し、住民の生計向上を支援する。

3. 重点分野（中目標）

（1）経済成長を実現するための環境整備

日本の技術や知見を活かした案件形成に留意しつつ、インフラ整備を通じて、ウガンダの持続可能な経済成長の実現に貢献する。また、例えば BTVET（Business、Technical Vocational Education and Training、商業・技術・職業教育訓練）への支援を通じて産業基盤となる人材の能力・技術力向上を支援する。

（2）農村開発を通じた所得向上

ウガンダは肥沃な土壌と豊富な降水量に恵まれた農業に適した環境にあり、労働力

¹東アフリカ共同体（EAC：East Africa Community）：ケニア、タンザニア、ウガンダ、ブルンジ、ルワンダが加盟している地域共同体（本年11月に南スーダンが正式加盟見込み）。

²東南部アフリカ市場共同体（COMESA：Common Market for East and South Africa）ブルンジ、コモロ、コンゴ（民）、ジブチ、エジプト、エリトリア、エチオピア、ケニア、リビア、マダガスカル、マラウイ、モーリシャス、ルワンダ、セーシェル、スーダン、スワジランド、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエの19 か国が加盟する市場共同体。

³「Vision2040」はウガンダの 30 年間の長期開発戦略を示したものである。その中で 6 つの国家開発計画を策定することになっている。第二次国家開発計画（2015/16—2019/20）が 2015 年に発表された。

人口の約 7 割が農業に従事している。他方、農業セクターは低い農業生産量及び生産性に悩まされているため、ネリカ品種やウガンダの環境条件に合致したコメを導入し、稲作を中心とした効率的かつ効果的な換金作物の生産を推奨し農家の所得向上を目指す。

(3) 生活環境整備（保健・給水）

基礎生活分野の改善のため、地方の中核医療施設・機材の改善・拡充と機材の維持管理技術向上、病院運営及びサービスの改善を支援する。また給水施設の建設と運営維持管理体制の強化を通じた地方給水率の向上に取り組む。

(4) 北部地域の社会的安定

紛争後の復興が遅れている北部地域の人々の生計向上及び職業スキルの向上を行う。また、コミュニティのレジリエンスを強化するため、地方政府の能力開発及びインフラ開発を行う。これらを通じて、同地域の社会的安定を促進する。さらに、隣国から流入してくる難民に対しても、ホストコミュニティのレジリエンス強化を含めた支援を行う。

4. 留意事項⁴

(1) ウガンダの地理的重要性を念頭に、周辺国との地域経済統合に役立つ案件形成に努める。

(2) 案件形成に関しては、ウガンダ政府が発表した第二次国家開発計画及びビジョン 2040 との整合性を図る。また、効果的な援助を実施するため、ウガンダ政府及び他の開発パートナーと積極的な対話を行う。

(3) 民間セクターの知見及び技術を活かし、官民連携、民間投資及び貿易を促進する。

(了)

別紙： 事業展開計画

⁴当該国を対象として実施された過去の ODA 国別評価は次のとおり。

ウガンダ国別評価（2011） 報告書掲載先：

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/uganda/kn10_01_index.html